

Superloop

大量サンプル添加



1 スーパーループの組み立て

- Superloopを分解し、Glass tube(7)、Movable seal(6)、Inner end piece(3) を超純水で濡らしてください。
- Inner end piece にコネクター (18-1112 -57と18-1112-55) とPEEKチュービング (green) を取り付けます (図1)。
- Movable seal をGlass tubeに挿入し、隙間に気泡が入らないようにピペットなどを用いて開始バッファを入れます (図2)。
- Glass tubeの上部から棒を差し込んで、Movable sealを目盛り2付近まで下げます (図3)。目盛りゼロより下に押し込むと、サンプルをうまく注入できません。
- Glass tube の上まで開始バッファを満らし、Inner end piece (長いチュービングの方) を差し込みます。このとき、Glass tubeおよびチューブ内に気泡が残らないように注意してください (図4)。
- Superloopを上下反転させ、Movable sealの上を開始バッファを満らし、Inner end piece (短いチュービングの方) を差し込みます (図5)。
- Outer end piece (黒) とProtective jacket を取り付け組立てます。



図1



図2



図3



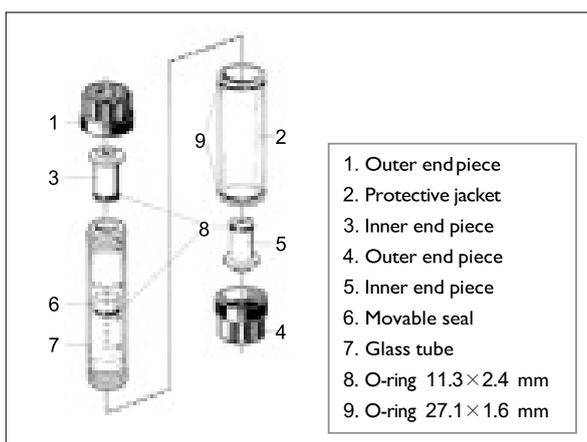
図4



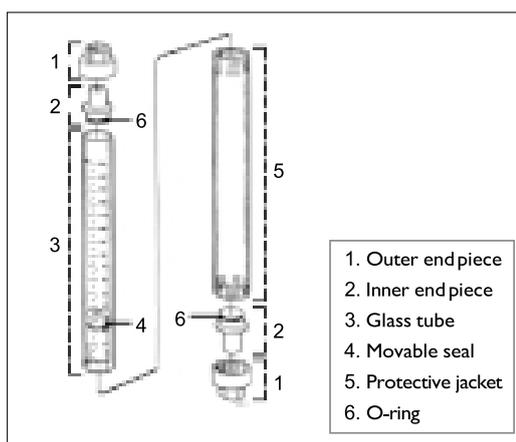
図5



図6



Superloop 10 ml, 50 ml のパーツ名称



Superloop 150 ml のパーツ名称

2 スーパーループの取り付け

- a) インジェクションバルブに、組み立てたSuperloopを取り付けます (図6)。

サンプル側 (短いチューブ) ⇒ポート2、
バッファー側 (長いチューブ) ⇒ポート6

- b) メインメニューの Manual Run を選択し、OKキーを押します。

▲▼を押して Set Inject Valve Pos を表示し、
▲▼を押して Inject を選択します。

- c) ▲▼を押して Set Flow Rate を表示し、流速を 1 ml/min に設定します。

- d) 送液を続けると Movable seal が目盛りゼロの近くで止まります。

このとき、若干の隙間が残ることがありますが、問題ありません。

- e) End キーを押して送液を止めます。



左から Superloop 150ml, 50 ml, 10 ml



1/16"female - M6 male ユニオン (18-1112-57)



1/16"male コネクター (18-1112-55)

3 使用後の保管

- 分解して乾燥状態で保管してください。システムに接続した状態で保管する場合は、20 % エタノールに置換してください。

Ordering information

アクセサリ	包装	コード番号
Superloop 10 ml, 1/16"fitting (ÄKTAdesign)*1	1	18-1113-81
Superloop 50 ml, 1/16"fitting (ÄKTAdesign)*1	1	18-1113-82
Superloop 150 ml*2	1	18-1023-85

*1 接続用のPEEK tubing とユニオン (18-1112-57) が含まれます。

*2 PEEK tubing (green) とユニオンはÄKTAprimeの付属品をお使いください。

Superloop 本体はFPLC用とまったく同じM6ネジ仕様です。1/16"female - M6 male ユニオン (18-1112-57)、1/16"male コネクター (18-1112-55) があれば、そのままÄKTAprime、ÄKTAdesign システムで使用できます。